

日本語教育教材の分析

An Analysis of Textbooks on Japanese Teaching

竹中 佐英子
Saeko TAKENAKA

Abstract

In order to be able to comprehend and produce foreign language, learners require sounds understanding of the languages system and an adequate vocabulary. But, specific groupe of learners may only require sufficient knowledge of the system to satisfy those needs. For example, Chinese people learning Japanese just for travel conversation. This paper refers to such learners, analyze some Japanese textbooks for short-term studying for Chinese people. The following results based on research of these textbooks were found :

(1) When introducing ways of doing things, performing functions with foreign language, teachers shold consider whether foreign language learners really need to know, for example, immigration, staying hotel, asking directions, apologizing, making suggentions.

(2) The method of short-term studying for Chinese would stress that producing Japanese sounds requires learners to be able to apply some Chinese sounds. Teachers shold help learners to activate their L1 sounds, so that they can predict what they are likely to pronounce.

キーワード：速習教材、機能、音声表記

Key Words : Japanese textbooks for intensive course, performing functions, sounds

0. テーマ選定理由

ある言語の教育法を研究する時、その言語のみならず、別の言語に関する知識が役立つことがしばしばある。例えば、日本人が習得しづらい中国語の発音や文型について調べると、それが彼らの母国語、すなわち日本語からの負の転移 (negative transfer) にあることが少なくない。中国語で「授業がある」は“有课”と言い、「授業が」の部分が「ある」の後に置かれるの

だが、日本人はしばしば*“課有”という非文を作ってしまう。これは、日本語の助詞「が」で導かれる部分は主語、主題で、文頭や動詞より前に置かれるからである(竹中2005d.)。このように原因を説明すると、日本語を知らない中国人は無意識に身に付いていた中国語の文法規則に気づく。日本人がどのように中国語を認知しているのかもわかり、教育法を改善することができる。

中国人は日本語学習者の中で最も人数の多い集団の1つである。中国人の日本語認知を解明すれば、彼らに対する日本語教育は大きな進歩をみるだろう。

筆者は日本人に対する中国語教育法を研究するに当たり、日本人が執筆した中国語教材の他、非漢字圏の研究者が執筆した中国語教材、中国の少数民族向け漢語¹⁾教科書、在外華僑子弟向け華語²⁾教科書、中国の語文(「国語」に相当)教科書、非漢字圏の学習者向け日本語漢字教材など、様々な教育体系の教材を調査し、学習者の中国語認知、学習規則について新たな知見を得てきた。また、教授すべき語彙、文型の選び方、文法説明の仕方、既習事項と新出事項の連結方法などについても、大いなる啓発を与えられた(竹中2005a. 竹中2005b. 竹中2005c.)。日本語教材を分析すれば、中国人の日本語認知を知る手がかりとなり、教育法の改善にもつながるだろう。

筆者は中国人の手による中国人学習者向け日本語教材を数種類入手している。『標準日本語』³⁾をはじめとする一般的な教材は、文法を体系的に学んでいく。彼らが使いにくい文法事項を重点的に解説し、習得困難な音を繰り返し練習するよう、編集されている。一方、体系的な学習をせず、簡単な会話さえできればよとする「速習」教材は、中国語の音を利用して日本語の音を表記しており、中国人が日本語の音声をどのように認知しているかを知る手がかりとなる。また、主に会話体を紹介しているので、中国人が日本語を用いてコミュニケーションをする場面およびそこでの表現を教えてくれる。日本語教育研究だけでなく、言語研究、言語教育研究にも啓発を与えてくれるだろう。

本稿は中国人の手による日本語速習教材を調査し、中国人が日本語を用いてコミュニケーションする場面、そこで用いる文、中国人の日本語音声認知を分析した上で、言語研究、言語教育研究に対し提言を行う。

1. 教材紹介

本稿では2種類の日本語速習教材を分析する。

1種類目は、2005年5月に中国・延辺大学出版社が出版した、徐静編著『説日語』(以下『延』と略す)である。『延』は外国人と簡単なコミュニケーションを取りたい中国人向けに執筆された「言語シリーズ小叢書」の1冊である。縦13.7センチ、横8.9センチ、厚さ1センチのポケットサイズ、縦長に全て横書きである。「言語シリーズ小叢書」には、本稿で分析する「日語」(日本語)の他、「英語」「俄语」(ロシア語)「粵(えつ)語」⁴⁾の3種類がある。

もう1種類は、2000年7月に中国・新疆人民出版社が出版した、『応急日語 説日語』(以下

『新』と略す)である。『新』は日常会話、旅行会話といった簡単な表現だけを知りたい中国人向けに執筆された「応急口語シリーズ」の1冊である。横12.8センチ、縦8.9センチ、厚さ1センチのポケットサイズ、横長に全て横書きである。「応急口語シリーズ」には、本稿で分析する「日語」の他、「英語」「徳語」(ドイツ語)「法語」(フランス語)「スペイン語」(スペイン語)「俄語」(韓国語)「広東話」⁽⁴⁾の7種類がある。

2. 教材分析

2. 1. 全体の構成

『延』『新』の全体の構成は共に、コミュニケーションの場面毎に章立てしている。表1は『延』『新』の各章が設定した場面である。

表1. 『延』『新』の各章が扱っている場面とそこに登場する文、フレーズ、単語の数

章	『延』	数	『新』	数
1	基礎会話(呼びかけ、挨拶、御礼、天気、送迎、送別、検査、質問、意思、意見、提案、命令、招待、拒否、慰め、激励、願い出、話題転換、中断、仮定、推測、比較、感嘆)	206	日常用語(挨拶、自己紹介、他人紹介、御礼、謝罪、年末年始、冠婚葬祭)	95
2	出入国、税関	59	電話	80
3	交通(道を尋ねる、タクシー)	83	依頼	34
4	宿泊	42	招待	17
5	食事	107	提案、願い出	21
6	買い物	107	郵便局(手紙、荷物郵送)	22
7	貯金、外貨両替	49	銀行	41
8	電話、郵便	57	病院	125
9	医療	51	レストラン	139
10	美容	58	ホテル	36
11	訪問	47	出入国、税関	15
12	アルバイト	22	美容院、床屋	10
13	商談	37	交通(道を尋ねる、タクシー)	20
14			買い物	45
15			北京観光	8
付録	数字、年月日時刻、数に関する表現 親族名称	139 36	親族名称、他人の呼び方 数字、曜日、年月日時刻、数に関する表現 日本人の姓 国民の祝日	59 118 40 15

『延』『新』共扱っている場面は、▽挨拶▽御礼▽提案▽願い出▽招待▽出入国、税関▽交通(道を尋ねる)▽宿泊、ホテル▽食事、レストラン▽買い物▽銀行(貯金、外貨両替)▽電話▽郵便局▽病院、医療▽美容院▽数字▽年月日時刻▽数に関する表現▽親族名称——の計19項目である。このうち、短期滞在を想定した場面は「ホテルに宿泊」くらいで、多くは日本に長

期滞在する中国人がよく出くわす場面である。「銀行」では、「ちょっと、今日の為替相場はどうなっていますか」(『延』 p147 『新』 p138)「わたしは日本円を人民幣に換えたいのです」(『延』 p148 『新』 p140) など、短期滞在でも使う表現だけでなく、「便利のため、カード⁽⁵⁾を作ってお使いになってください」(『新』 p135)「普通預金の口座を開きたいのですが。最初の預金として、一定額を入れるきまりがありますか」(『延』 p145) など、日本で長期間生活する際用いる表現も紹介している。「電話」では、「ありがとうございます。広田運送です」(『新』 p56)「日野自動車、営業部4課でございます」(『新』 p57)「部長にお電話です。日立電機の山田専務、4番です」(『新』 p59)「ただ今、会議中なんです」(『新』 p65)「李は、ちょっと席をはずしているのですが」(『延』 p158) など、日本企業の社員として電話を受けることを想定した表現が大半を占める。「食事」では、「日本では普通、朝食には、主食はご飯です。それに漬物やみそ汁がつきます」(『延』 p108)「梅干というものが、梅を漬汁た⁽⁵⁾ものです」(『延』 p109)、「挨拶」では「明けましておめでとうございます」(『新』 p34)、「この度は、まことにご愁傷さまでした」(『新』 p42) など、日本の文化や風習を伝えている。一方「買い物」には、「シルクやファッションなどを買いたいなら、北京の有名な商業街—秀水街へ行ったほうがいいと思います」(『延』 p131)「あなたは兵馬俑で記念品になるようなもの⁽⁵⁾が買いたいですか」(『新』 p252)「ここで売っているものは言い値がわりあい高いですけど、駆け引きをすることができますよ」(『延』 p133) など、中国で日本人観光客の御土産購入を手助けする際用いる表現がある。一部には、「アメリカドルをイギリスのポンドに替えたいのですが」(『延』 p142) など、中国人が日本語で表現する頻度が高いとは思えない表現も登場する。

『延』だけが扱っている場面は、▽訪問▽アルバイト▽商談——など計21項目ある。「訪問」では、「これつまらないものですが、ほんの気持ちばかりですから、お受け取りください」(『延』 p200)「お口に合うかどうかわかりませんか、お料理をどうぞ」(『延』 p204) など、日本人が心をこめてもてなしをする際にも謙遜する習慣があることを示し、「たたみに座ります。慣れないでしょう。膝をくずして楽にしてください」(『延』 p202)「これは雑煮です。餅と野菜の入ったスープのようです」(『延』 p204) など、日本の住居、食文化に関する情報も盛り込んでいる。「商談」では、「日本市場での中国刺繍製品の評判はどんなものなのか、お聞かせ願えますか」(『延』 p220)「積み卸のときに破損しやすいので、包装はしっかりお願いします」(『延』 p228) など、日中貿易を想定した表現が多い。なお、『延』が「商談」以外で社会人を想定した表現は、「このことが失敗したら、私は会社を辞めます」(『延』 p48)「もしもし、××会社でございます」(『延』 p157) など、あまり多くなく、「アルバイト」では「留学生として、週に二十八時間アルバイトをやるのは許されるのです」(『延』 p208)、その他の場面でも「試験の成績はいかがですか」(『延』 p18)「来月までには論文を書き上げるつもりです」(『延』 p22)「授業中はものを食べてはいけません」(『延』 p26)「大学入試まで、あとひといきです。元気を出してくださいね」(『延』 p36)「頭⁽⁵⁾痛がしてつまらないのですが、午後の授業、休んでもいいでしょうか」(『延』 p39)「話は変わりますが、就職の件はどうなりましたか」(『延』 p42) な

ど、留学生であることを想定した表現が多く見られる。

『新』だけが扱っている場面は、▽北京観光▽日本人の姓▽国民の祝日——など計10項目ある。「北京観光」では、「万里の長城に行くのは、一日かかります」（『新』 p256）「頤和園と圓明園の距離が近いです」（『新』 p257）など、日本人到北京を案内してあげることを想定した表現を紹介している。「日本人の姓」では、「いしかわ」「はせがわ」「おがわ」に用いられる「川」の読み方が、「かわ」「がわ」の2種類あることを注記している。

2. 2. 各章の構成

『延』『新』の各章の構成は共に、ある場面でよく使う日本語の文、フレーズ、単語を紹介している。これらの表現は書面語ではなく、全て会話体、口語である。一般的な教材にある、1つ1つの単語の意味、文法項目の説明は一切ない。但し、単語だけを紹介する箇所の日本語表現は単語の意味だけが掲載されている（例3参照）。ある文とそれに続く文は、問答形式になっていることもあり、つながりがない場合もある。

【例1】 八、医院（『新』 p150）

热がありますか。

发烧吗？

乃次嘎阿利妈斯咖

nei cì gā ā lì mā sī kā

どんな症状ですか。

得的是什么病？

到恩那消－交－代斯加

duó en nā xió - jiáo - dei sī kā

しかし、少し咳が出ます。

不过有点儿咳嗽。

西卡西丝靠而塞克嘎代吗丝

xī kǎ xī sī kuò xī sei kǐ gā dei ma sī

【例2】 6. 购物（『延』 p124）

这是找你的零钱。

おつりです。

噢次哩呆丝。

还要别的吗？

ほかに何かほしいですか。

好卡尼那尼卡好西衣呆丝咖。

欢迎欢迎，看中什么了？

いらっしゃいませ。何をごらんに入れましょうか。

衣拉×吓衣吗塞，那尼噢勾拉恩尼衣来吗笑乌咖。

【例3】 出入境与海关常用词汇（『延』 p69）

头等舱

ファーストクラス

发阿丝掏枯拉丝

例1は『新』が病院での会話を紹介した箇所である。「热⁽⁵⁾ がありますか」「どんな症状ですか」という医師側からの2つの文に続き、「しかし、少し咳が出ます」と、患者側が良く使う回答を紹介している。例2は『延』が買い物での表現を紹介した箇所である。「おつりです」「ほかに何かほしいですか」「いらっしゃいませ。何をごらんに入れましょうか」という3つの文が、この順序で同一ページに掲載されている。実際の会話では、「いらっしゃいませ。何をごらんに入れましょうか」「ほかに何かほしいですか」「おつりです」という順序になるだろう。

2. 3. 日本語表現の表記方法

『延』『新』共、日本語の文、フレーズ、単語を日本漢字、ひらがな、カタカナを用いて表した後、その日本語の音に近い読み方を持つ「簡体字」⁽⁶⁾を用いて表している。

【例4】（『延』 p74）

您住在什么地方？

おすまいはどちらですか。

噢丝吗衣哇到七拉呆丝咖。

【例5】（『新』 p228）

おすまいはどちらですか。

您住在什么地方？

噢丝吗衣哇刀企拉代丝咖

ō sī mā yī wā dò qī lā dei sī kā

例4は『延』、例5は『新』が「お住まいはどちらですか」という文を紹介した箇所である。ここに添えられた簡体字“噢丝吗衣哇到(刀)七拉呆丝咖”はこの日本語に近い読み方をする。共に「オスマイワタオチラタイスカ」のように読む。

日本語を紹介するのに、『延』はまず中国語、次に日本語、最後に簡体字を用いた日本語音声表記の順である(例2, 3, 4参照)。一方、『新』はまず日本語、次に中国語、その次に簡体字を用いた日本語音声表記、最後にピンイン⁽⁷⁾の順である(例1, 5参照)。このピンイン表記は日本語音声表記に用いた簡体字をピンインで表したものと一致せず、日本語の音をできるだけ忠実にピンインで表そうと試みている。例えば、例4, 5の簡体字をピンインで表すと、“ō sī mā yī wā dào qī lā dài sī gā”である。つまり、“刀”のピンインは“dò”ではなく“dào”(タオ)、“代”のピンインは“dei”ではなく“dài”(タイ)、“咖”のピンインは“kā”ではなく“gā”(ガ)である。しかし、日本語の音「ド」「デ」「カ」を表すのにふさわしい中国語の音およびそれを表す簡体字がないため、それぞれに最も近い“dào”“dài”“kā”という音を持つ簡体字“刀”“代”“咖”で代用したのである。

2. 4. 日本語音声の表記方法

『延』は冒頭の5ページに日本語の50音、濁音、半濁音とそれを表すのに用いた簡体字の対照表を掲載しているが、『新』は対照表を一切掲載していない。また、『延』『新』共、日本語の拗音とそれを表すのに用いた簡体字の対照表は一切ない。理由は、『延』が日本語の音「い」を表すのに簡体字“衣”しか使っていないのに対し、『新』は“衣”の他、“依”“医”“意”など、複数用いているからである(表2参照)。なお、拗音とそれを表すのに用いた簡体字は『延』『新』共、1つの拗音に1つの簡体字という関係ではない(表3参照)。

筆者は『延』『新』が日本語音声を表すのに用いた簡体字を全て対照させ、表2, 3で一覽で示した。表2, 3の見方を説明する。「あ」は日本語の「あ」の音を表すのに『延』『新』両方が用いた簡体字、「あ【新】」は日本語の「あ」の音を表すのに『新』だけが用いた簡体字、「しゅ【延】」は日本語の「しゅ」の音を表すのに『延』だけが用いた簡体字、ということである。

表2. 日本語50音、濁音、半濁音と簡体字表記の対応関係

あ	あ【新】	い	い【新】	う	う【新】	え	え【新】	お	お【新】
啊 ā	阿 ā	衣 yī	依 yī 伊 yī 医 yī 意 yī	乌 wū	伍 wū	欸 ēi	艾 ài	噢 ō	哦 ó 奥 ào
か	か【新】	き	き【新】	く	く【新】	け		こ	こ【新】
卡 kǎ	咔 kā	克 依	克 医	枯 kū	估 gū	开 kāi		考 kǎo	扣 kòu
咖 gā	开 kāi	kèyī	kèyī 开 kāi		哭 kū			靠 kào	

さ	さ『新』	し	し『新』	す	す『新』	せ	せ『新』	そ	そ『新』
萨 sà	仨 sā 杀 shā 沙 shā 傻 shǎ 塞 sāi	西 xī	希 xī 袭 xí 喜 xǐ	丝 sī	斯 sī 士 shì	塞 sāi	腮 sāi	骚 sāo	嗖 sōu 捐 shāo 少 shǎo 松 sōng
た	た『新』	ち	ち『新』	つ	つ『新』	て	て『新』	と	と『新』
他 tā	大 dà 踏 tà 塔 tà	七 qī	齐 qí 企 qǐ 气 qì 器 qì	次 cì	资 zī 字 zì 慈 cí 磁 cí	太 tài	特 tè 代 dài 胎 tāi 天 tiān 添 tiān	掏 tāo	透 tòu 痛 tòng 拖 tuō 到 dào
な	な『新』	に	に『新』	ぬ	む『新』	ね	ね『新』	の	の『新』
那 nà	娜 nà	尼 ní	拟 nǐ 宁 níng	怒 nù	奴 nú	乃 nǎi	捏 niē 年 nián 耐 nài	闹 nào	孬 nǎo
は	は『新』	ひ	ひ『新』	ふ	ふ『新』	へ	へ『新』	ほ	ほ『新』
哈 hā	海 hǎi 汉 hàn	何 衣 hé yī	黑 hēi 嘿 hēi 嗨 hāi 横 héng	夫 fū	浮 fú 付 fù	嘿 hēi	海 hǎi 害 hài	好 hào	轰 hōng 红 hóng 蒿 hào 号 hào
ま	ま『新』	み	み『新』	む	む『新』	め	め『新』	も	も『新』
吗 ma	妈 mā 马 mǎ 玛 mǎ 骂 mà 嘛 ma 慢 màn	咪 mī	米 mǐ 民 mín	木 mù	姆 mǔ	迈 mài	妹 mèi 埋 mái 买 mǎi 麦 mài	猫 māo	模 mó 毛 máo
や	や『新』			ゆ	ゆ『新』			よ	よ『新』
呀 yā	压 yā 鸭 yā 哑 yǎ 亚 yà			由 yóu	优 yōu 油 yóu			腰 yāo	哟 yō 要 yào 洋 yáng
ら	ら『新』	り	り『新』	る	る『新』	れ	れ『新』	ろ	ろ『新』
拉 lā	啦 lā	哩 lǐ	厘 lí 理 lǐ 利 lì 令 líng	噜 lū	炉 lú 鲁 lǔ 路 lù	来 lái	累 léi 列 liè	捞 lāo	劳 láo 落 luò 老 lǎo 路 lù
わ	わ『新』			を				ん	
哇 wā	挖 wā 袜 wà			噢 ō				恩 ēn	

が	が『新』	ぎ	ぎ『新』	ぐ		げ	げ『新』	ご	ご『新』
咖 gā	嘎 gā 凱 kǎi 干 gān	哥衣 gēyī	给衣 gěiyī 给银 gěiyīn	估 gū		给 gěi	该 gāi 盖 gài 黑 hēi	勾 gōu	够 gòu 高 gāo 告 gào
ざ	ざ『新』	じ	じ『新』	ず	ず『新』	ぜ	ぜ『新』	ぞ	ぞ『新』
匝 zā	喳 zhā 札 zhá	机 jī	鸡 jī 纪 jì 今 jīn 金 jīn 津 jīn 经 jīng	慈 cí	子 zǐ 只 zhī 纸 zhǐ	在 zài	灾 zāi 再 zài 斋 zhāi 占 zhān	遭 zāo	奏 zòu 造 zào
だ	だ『新』	ぢ		づ	づ『新』	で	で『新』	ど	ど『新』
达 dá	搭 dā 大 dà 担 dān 当 dāng	机 jī		慈 cí	自 zì 疵 cǐ	呆 dāi	歹 dǎi 代 dài 订 dìng	到 dào	豆 dòu 咚 dōng 刀 dāo 道 dào 当 dāng
ば	ば『新』	び	び『新』	ぶ	ぶ『新』	べ	べ『新』	ぼ	ぼ『新』
吧 bā	八 bā 巴 bā 拔 bá 班 bān 帮 bāng	逼 bī	毕 bì 病 bìng	不 bù	布 bù 部 bù	杯 bēi	北 běi 奔 bēn 白 bái 败 bài 搬 bān	包 bāo	薄 bó 剥 bō 拔 bō 报 bào 暴 bào
ぱ	ぱ『新』	ぴ	ぴ『新』	ぷ	ぷ『新』	ぺ	ぺ『新』	ぽ	ぽ『新』
怕 pà	扒 pá 帕 pà 叭 bā	皮 pí	披 pī	扑 pū		陪 péi	派 pài	抛 pāo	泡 pào

表3. 日本語拗音と簡体字表記の対応関係

きゃ	きゃ『新』	きゅ	きゅ『新』	きょ	きょ『新』	きよ	きよ『新』
克衣呀 kèyīyā	克呀 kèyā 恰 qià	克衣由 kèyīyóu 克由 kèyóu 克优 kèyōu	Q/克医油 kèyīyóu 克油 kèyóu/ 克医奥 kèyìào	克衣腰 kèyīyāo 克腰 kèyāo	克医腰 kèyīyāo 克腰 Q kèyī		
しゃ	しゃ『新』	しゅ	しゅ『延』	しゅ『新』	しよ	しよ『延』	しよ『新』
虾 xià	瞎 xià/ 吓 xià/ 夏 xià	休 xiū	秀 xiù	修 xiū/ 少 shǎo	消 xiào/ 小 xiǎo	笑 xiào 悵 chàng	效 xiào 小 xiǎo

ちゃ	ちゃ『新』	ちゅ	ちえ『延』	ちよ	ちよ『延』	ちよ『新』
恰 qià	掐 qiā/呛 qiào	秋 qiū	七欸 qī'èi	悄 qiào/巧 qiao	乔 qiáo	瞧 qiáo 俏 qiào 翘 qiào 章 zhāng
にゅ		にゅ『新』		にょ『延』		
牛 niú		扭 niǔ/油 yóu		尼腰 níyāo		
ひゃ『延』		ひゃ『新』		ひょ『新』		
何衣呀 héiyā		呀吓 yāxià/黑呀 hēiyā		详 xiáng/小好 xiǎohǎo		
りゅ		りょ		りょ『新』		
流 liú		辽 liáo/料 liào		良 liáng		
ぎゅ『延』		ぎゅ『新』		ぎょ『延』		ぎょ『新』
哥由 gēyóu		给优 gěiyōu 给油 gěiyóu		哥衣腰 gēiyāo		给腰 gěiyāo/药 yào/ 高 gāo/哟 yō
じゃ	じゃ『延』	じゃ『新』	じゅ『延』	じゅ『新』	じょ	じょ『新』
家 jiā	加 jiā	驾 jià	救 jiù	纠 jiū/酒 jiǔ/ 就 jiù/秋 qiū/ 均 jūn	交 jiāo/ 叫 jiào	觉 jiào
びゃ『延』	びょ『延』	びょ『新』	びゃ『延』	びゃ『新』	っ (促音)	
逼呀 biyā	逼腰乌 bīyāowū	标 biāo	皮呀 píyā	逼呀 biyā	×	

簡体字の後ろのローマ字表記は、その簡体字の読み方を表す「ピンイン」⁽⁷⁾である。このピンインから、『延』『新』が日本語の母音、子音に対応させた中国語の母音、子音を、日本語の母音、子音毎に多い方から順に表4にまとめた。表4の見方を説明する。「あ段」を含む日本語の音（あ、か、さ、…）に対応させた中国語の音節は48種類あり、その母音の方を調査すると、最も多かったのは中国語の単母音“a”、次が鼻母音“an”、3番目が二重母音“ai”、ということである。「さ行」を含む日本語の音（さ、し、…）に対応させた中国語の音節は45種類あり、その子音の方を調査すると、最も多かったのは舌面音“x”、次が舌尖音“s”と舌面音“j”、その他は舌尖後音“sh”“ch”、ということである。

表4. 日本語母音、子音、拗音に対応させた中国語の音一覧表

あ段 (48)	a : 39 (81%)	an : 5 (10.4%)	ai : 4 (8.3%)
い段 (49)	i : 30 (61%)	in/ing/ei : 4 (8.1%)	ai/ei : 2 (8%) / eiyi/eiyin/eng : 1 (2%)
う段 (36)	u : 21 (58%)	i (zcsの後) : 12 (33%)	i (zhchshの後) : 3 (8.3%)
え段 (46)	ai : 27 (58%)	ei : 9 (19%)	ian : 3 (6.5%), ie/an : 2 (4.3%), e/en/ing : 1 (2.1%)
お段 (52)	ao : 30 (57%)	ou : 7 (13.4%)	o : 6 (11.5%), ong : 5 (9.6%), uo : 2 (3.8%), u/ang : 1 (1.9%)

－ゃ (16)	ia : 8 (50%)	iya : 4 (25%)	eiya : 2 (12.5%), iang/iaxia : 1 (6.2%)
－ゅ (23)	iou : 12 (52%)	eyou : 3 (13%)	eiyou/eiyou : 2 (8.6%), iao/un/eyiao/eiywu : 1 (4.3%)
－ょ (32)	iao : 17 (52%)	eiyiao : 3 (9.3%)	ao/ang/iang : 2 (9.3%), yo/i-ao/eyao/eiyao/iaohao/iyaowu : 1 (3.1%)
か行 (24)	k : 22 (91%)	g : 2 (8.3%)	
さ行 (45)	x : 16 (35%)	s/j : 10 (22%)	sh : 7 (15%), q/ch : 1 (2.2%)
た行 (41)	q : 16 (39%)	t : 12 (29%)	d : 7 (17%), c : 3 (8.2%), z : 2 (4.8%), zh : 1 (2.4%)
な行 (17)	n : 17 (100%)		
は行 (23)	h : 18 (78%)	f : 3 (13%)	x : 2 (8.6%)
ま行 (20)	m : 20 (100%)		
や行 (11)	ia : 4 (36%)	you : 3 (27%)	iao : 2 (18%), yo/yang : 1 (9%)
ら行 (24)	l : 24 (100%)		
わ行 (3)	wa : 3 (100%)		
が行 (22)	g : 20 (90%)	k/j : 1 (4.5%)	
ざ行 (22)	j : 8 (36%)	z : 7 (31%)	zh : 5 (22%), z/c : 1 (4.5%)
だ行 (14)	d : 11 (78%)	c : 2 (14%)	z : 1 (7.1%)
ば行 (28)	b : 28 (100%)		
ぱ行 (13)	p : 12 (92%)	b : 1 (7%)	

まず、日本語の母音を表すのに用いた中国語の母音を見よう。中国語子音舌尖前音“z, c, s”の後ろの母音“i”は、唇を横に引いて「ウ」と発音する。中国語子音舌尖後音（いわゆる“そり舌音”）“zh, ch, sh”の後ろの母音“i”は、唇をあまり横に引かず、ゆるめで軽く「イ」と発音する。ゆえに、日本語の母音「ア」「イ」「ウ」を表すのに、それぞれ中国語の単母音で近寄った発音をする“a”“i”“u”が良く用いられている。中国語の複合母音“ai”“ao”を単独で発音するとそれぞれ「アイ」「アオ」、「ei”“ou”はそれぞれ「エイ」「オウ」のように発音する。だから、日本語母語話者には日本語の母音「エ」「オ」にはそれぞれ後者の方が近い音に思えるが、『延』『新』（中国語母語話者）はそれぞれ前者の方を多く用いて表している。中国語の複合母音は2つ（以上）の単母音から構成され、1つ目の母音から2つ目の母音へとなめらかにつなげて発音する。すると、ある程度スピードの付いた自然な会話の中では、それぞれの単母音がもう片方の単母音に近寄って発音される。これらの複合母音の実際の発音について、吳宗濟1991.は「“ai”の“i”はゆるい“エ”、“ei”の“e”は“イ”に近い“エ”のようになる。“ao”の“a”は舌が後ろに寄り、“オ”に近い音になって“o”へとつながって行く。“ou”の“o”は唇をあまり丸めず、“ウ”に近くなる」と指摘する。そのため、中国語母語話者は日本語の母音「エ」に近いのは“ei”ではなく“ai”の方、「オ」に近いのは“ou”ではなく“ao”の方と知覚するのだろう。

次に、日本語の拗音を表すのに用いた中国語の音を見てみよう。「－ゃ」は“ia”、「－ゅ」は“iou”、「－ょ」は“iao”を用いて表している。日本語の拗音は歴史的に中国語の複合母音に由

来するため、中国語母語話者は拗音に複合母音を対応させている。

更に、日本語の子音を表すのに用いた中国語の子音を見よう。中国語の子音には清濁の区別はなく、「無気音」「有気音」の区別がある。清音は濁音に比べ *vot* (voice onset time) が長い。子音から母音に移る間に比較的長い気流が介在する、すなわち *vot* が長い子音を有気音、気流が介在しない、すなわち *vot* が短い子音を無気音と言う。また、清濁に意味の対立があるように、有気音と無気音にも意味の対立がある。例えば、後ろに同じ単母音 “a” を伴い、同じ声調「第一声」⁽⁸⁾ で子音が無気音の “b” である “八 bā” だと「(数の) 8」という意味だが、子音を有気音の “p” にすると “趴 pā” 「腹ばいになる」という意味になる。このように、清音と有気音、濁音と無気音の間に共通点が見られるため、清音「か行」「さ行」「た行」「は行」を表すのに、それぞれ有気音 “k” “s” “t” “h”、濁音「が行」「ざ行」「だ行」「ば行」を表すのに、それぞれ無気音 “g” “z” “d” “b”、半濁音「ぱ行」を表すのに有気音 “p” が良く用いられている。また、日本語「な行」「ま行」「ら行」はそれぞれ中国語の子音舌尖中音 “n” 両唇音 “m” 舌尖中音 “l” と100%対応している。中国語子音舌面音 “xi” は「シ”、 “qi” は「チ”、 “ji” は「ジ」のように発音するので、こうした日本語の音を表すのに良く用いられている。

最後に、いくつかの音の表現について触れておく。日本語の「き」「ぎ」「きゃ」「きゅ」「きょ」「ぎゅ」「ぎょ」「ひ」「ひゃ」「ひゅ」「ひょ」「びょ」「びゃ」「びゃ」を、中国語は2音節(以上)を用いて表現している。中国語の1音節では近い音が全くないためである。しかし、「ひゃ」を表す “何衣呀 héiyā” は「フーイーヤー」、 「ぎゃ」を表す “哥衣腰 gēiyāo” は「グイーヤオ」のように読み、日本語の音とは程遠い。中国語の音だけで日本語の音を表すことには限界がある。

3. 結果と提言

本稿の分析から得た結果、言語教育研究、言語研究に対する提言は以下の通りである。

- (1) 成人を対象とした外国語教育では、彼らが現地で生存、生活するのに必要な表現を教えると共に、現地の文化的要素も伝える。速習教材を用いる中国人日本語学習者は、出入国手続き、外貨両替、病院などで用いる表現だけでなく、日本の衣食住など文化に関する情報も欲している(2.1.参照)。文学作品、親子の会話を題材に執筆された小中学校の国語教材を参考にしても、成人学習者のニーズを満たす外国語教材を執筆することはできない。
- (2) 外国語の発音教育では、母国語の音は「適切に」利用する。速習教材は日本語音声を中国語の音の中に探し、簡体字で表記している(2.2., 2.3.参照)。中国語母語話者には親しみやすく、学びやすいだろう。しかし、中国語の中にある音だけで表現しようとするあまり、一塊で発音する日本語の拗音に「イア」「イオウ」「イアォ」のように3つの音から構成される複合母音を対応させたり、「ひゃ」を「フーイーヤー」と表すなど、明らかにかけ離れた音を用いた表記もある(2.4.参照)。こうした発音ではコミュニケーションは

成立しないし、誤解も招く。外国人に対する発音指導の目的は、意味の弁別をするためであり、ネイティブと同レベルになるためではない。母国語の中の近い音を利用するのは1つの方法だが、母国語に全く無い音は正確な発音を叩き込まなければならない。

- (3) 言語認知研究を進める。中国語母語話者が日本語の母音「エ」「オ」を複合母音“ai”“ao”、清音を有気音、濁音を無気音で表していることから、こうした音の実際の発音を認識することができた(2.4.参照)。非母語話者が日本語をどう認知しているのかを調査することは、言語研究の更なる発展に寄与するだろう。

【注】

- (1) 中国は56の民族からなる多民族国家で、それぞれの民族は独自の言語を持っている。最も人口が多い民族は漢族で、彼らが使う言語を「漢語」と言う。「漢語」は大きく分けて「北京語」「上海語」「湖南語」「江西語」「広東語」「客家語」「閩北語」「閩南語」の8つの方言がある。各方言は文法規則には共通点が多いものの、発音の違いは外国語ほど大きく、「北京語」話者が「広東語」を聞いても一言も理解できない。ちなみに、私たち(本稿も含む)が「中国語」と言っているのは、「北京語音を標準音」「北京語を基礎語彙」「白話文(口語文)を文法基礎」として作られた「漢語」の標準語「普通話」のことを指している。
- (2) 中国大陸、台湾(中華民国)出身で海外在住の人たちは中国語のことを「華語」と言い、子弟に在住地の公用語と共に華語も学ばせることがある。
- (3) 『標準日本語』とは、1988年に中国・人民教育出版社と日本・光村図書出版株式会社が共同開発した日本語教材で、出版以来、中国大陸の日本語学習者に最も多く用いられている。各課は文型、助詞など、文法を体系的に学習するよう編集され、文法項目の説明は全て中国語で書かれている。
- (4) 「粵(えつ)語」「広東話」とは、「漢語」八大方言((1)参照)の1つ「広東語」のこと。
- (5) 「かード」「漬汁た」「なるようなもの」はいずれも原文のままの誤記である。また、“頭”は「頭」、 “熱”は「熱」の簡体字((6)参照)である。
- (6) 「簡体字」とは、中華人民共和国(中国大陸)で用いられている漢字体系のこと。中国語を表記する文字は漢字だけである。漢字はアルファベット、ハングルなど、他の文字体系と比べ、数が多い、字形が複雑、1文字当たりの画数が多い、といった理由から、中国大陸の識字率向上の障害となっていた。そこで中国共産党は1960年代、1文字当たりの画数を減らし、書きやすくした「簡体字」を制定、体系化していった。
- (7) 「ピンイン」とは、簡体字の読み方を表すローマ字表記のこと。例えば、“妈”(お母さん)という簡体字のピンインは“mā”である。“m”が子音、“a”が母音、“a”の上に引かれた横一線の棒“-”は「声調」((8)参照)を表す。
- (8) 「声調」とは中国語のひとつひとつの音節が持っているトーンのこと。「普通話」((1)参照)には4種類の声調があり、「四声」と呼ぶ。声調が異なると意味も異なる。

【参考文献】

- 吴宗济1991.《现代汉语语音概要》, 华语教学出版社
- 竹中佐英子2005a.〈対外日語的漢字教学法分析〉『目白大学文学・言語学研究』第1号p115-125 平成17年1月31日
- 竹中佐英子2005b.「記憶モデル理論から見た中国語発音教育のあり方」『目白大学心理学研究』第1号p61-72 平成17年3月30日

- 竹中佐英子2005c. 〈対日汉语汉字读音教学法分析〉『中国言語文化論叢』第7集p57-74 平成17年3月31日
- 竹中佐英子2005d. 〈日本学生の汉语病句辨析〉『目白大学人文学研究』第2号p171-182 平成17年7月31日
- 竹中佐英子2007. 〈日本中小学国语写作教学法分析〉『目白大学文学・言語学研究』第3号p13-24 平成19年1月31日